



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 レンゴー株式会社

コード番号 3941 URL <http://www.rengo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大坪 清

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 飯田 誠

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日

TEL 06-6223-2371

平成25年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	257,262	2.4	9,787	△27.7	10,836	△18.5	7,317	39.3
25年3月期第2四半期	251,215	1.8	13,541	△5.9	13,302	△6.2	5,253	△26.6

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 17,440百万円 (216.7%) 25年3月期第2四半期 5,507百万円 (△24.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	29.54	—
25年3月期第2四半期	20.39	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	597,161	204,333	33.0
25年3月期	572,591	188,132	31.6

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 197,274百万円 25年3月期 180,733百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
26年3月期	—	6.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	520,000	3.5	20,000	△16.3	20,000	△17.5	12,000	△7.4	48.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	271,056,029 株	25年3月期	271,056,029 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	23,342,973 株	25年3月期	23,316,280 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	247,725,411 株	25年3月期2Q	257,639,006 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあつたての注意事項等につきましては、【添付資料】P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考)個別業績予想

平成26年3月期の個別業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	290,000	3.1	10,000	△21.4	10,000	△24.9	6,000	89.2	24.22

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
4. 補足情報 .....	9
連結および個別決算概要 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済におきましては、新政権の政策効果による公共投資の増加、雇用情勢の改善、堅調な個人消費に支えられ、緩やかに回復してまいりました。

このような経済環境の中で、板紙業界および段ボール業界におきましては、今夏の猛暑による飲料需要の伸長など食品向けが堅調に推移したことから、生産量は前年を上回りました。

紙器業界におきましては、軟包装など他素材への需要のシフトが続いていますが、生産量は前年並みを確保しました。

軟包装業界におきましては、コンビニエンスストアの販売好調により、また、重包装業界におきましては、原子力発電所事故関連の除染用コンテナバッグ需要や石油化学関連の需要回復により、生産量は前年を上回りました。

以上のような状況の下で、当社グループは、「ゼネラル・パッケージング・インダストリー」=GPIレンゴーとして製紙、段ボール、紙器、軟包装、重包装、海外の6つのコア事業を中心に、生産性と品質の一層の向上、コスト削減はもちろんのこと、さらなる競争力や事業基盤の強化に向けた、積極的なM&Aや設備投資、グループ会社の再編などに取り組んでまいりました。

本年5月に米国ハワイ州のグループ会社、レンゴー・パッケージング社において、同州唯一となる段ボール工場の建設に着手するとともに、7月には、国内グループ会社の大和紙器株式会社において、岡山工場(岡山県岡山市)と姫路工場(兵庫県揖保郡太子町)の統合を目的とする瀬戸内工場(岡山県瀬戸内市)の建設、また、同じく丸三製紙株式会社(福島県南相馬市)においては、かねてより準備を進めておりました段ボール原紙製造設備更新の本体工事にそれぞれ着手いたしました。

さらに、重包装事業の拡充を図るため、傘下に森下株式会社(岡山県瀬戸内市)および森下化学工業株式会社(同)を持ち、主にコンテナバッグ、産業用樹脂シート、樹脂製ネットの3つの事業を展開する、重包装業界の有力企業グループであるマルソルホールディングス株式会社(同)を子会社化いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は257,262百万円(前年同期比2.4%増)、営業利益は9,787百万円(同27.7%減)、経常利益は10,836百万円(同18.5%減)、四半期純利益は7,317百万円(同39.3%増)となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントの概況は、次のとおりであります。

## [板紙・紙加工関連事業]

板紙・紙加工関連事業につきましては、今夏の猛暑効果による需要増、連結子会社の増加等はありませんでしたが、板紙ならびに段ボール製品価格の軟化や原燃料価格上昇等の影響により、売上高は前年を上回ったものの、減益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は185,102百万円(同0.8%増)、営業利益は8,495百万円(同30.0%減)となりました。

## [軟包装関連事業]

軟包装関連事業につきましては、コンビニエンスストア向けの需要が堅調に推移したこと等により増収となりましたが、原燃料価格の上昇、設備投資に伴う減価償却費の増加等もあり減益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は30,022百万円(同7.1%増)、営業利益は1,057百万円(同15.6%減)となりました。

## [重包装関連事業]

重包装関連事業につきましては、コンテナバッグ等の需要増が寄与し増収増益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は13,713百万円(同13.0%増)、営業利益は528百万円(同9.8%増)となりました。

## [海外関連事業]

海外関連事業につきましては、連結子会社の増加もあり増収となりましたが、中国における板紙事業の低迷等により減益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は12,175百万円(同16.4%増)、営業損失は689百万円となりました。

なお、海外関連事業には、海外における板紙・紙加工関連事業、軟包装関連事業、重包装関連事業が含まれております。

## [その他の事業]

その他の事業につきましては、化成品事業からの撤退により減収となりましたが、運送事業の需要増もあり増益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は16,249百万円(同4.5%減)、営業利益は327百万円(同125.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、有形固定資産の取得や株価の上昇等による投資有価証券の増加により、597,161百万円となり、前連結会計年度末に比べ24,570百万円増加しました。

負債は、主に長短借入金増加により、392,828百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,370百万円増加しました。

純資産は、当期純利益の計上による利益剰余金の増加に加え、株価の上昇や為替レートの変動に伴うその他の包括利益累計額の増加により、204,333百万円となり、前連結会計年度末に比べ16,201百万円増加しました。

この結果、自己資本比率は33.0%となり、前連結会計年度末に比べ1.4ポイント上昇しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後のわが国経済は、不透明な世界経済の動向や、円安に伴う原燃料価格の上昇などの懸念はあるものの、米国経済の回復に加え、国内では引き続き政策効果への期待とともに、東京オリンピック・パラリンピックの開催決定、本格的な被災地の復興需要、そして消費税率引上げにあわせた経済対策の実施も見込まれ、デフレからの脱却とともに着実な回復と成長が期待されます。

こうした状況の中、当社グループは、全てのコア事業が連携し相乗効果を発揮しながら総合力を高めるとともに、提案型営業の推進による受注の拡大、コスト競争力と財務体質の強化により、引き続きグループ全体の業容拡大に取り組んでまいります。また、コンプライアンス体制の強化にも積極的に取り組み、より強固な経営基盤の確立を図ってまいります。

たゆみない意識改革とイノベーションを通じて、これからも包装の革新をリードし新たな価値を創造することはもちろんのこと、環境経営のキーワードである「軽薄炭少」をさらに進化させた「Less is more.」を合言葉として、エネルギー消費と二酸化炭素排出量のさらなる削減を図りながら、少ない資源でより付加価値の高い高品質な製品づくりをグループ全体で推進してまいります。

以上をふまえ、平成26年3月期の連結業績および個別業績につきましては、平成25年10月31日に開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」の記載のとおりとしております。

[通期の連結業績予想]	売上高	5,200億円	(前年比 3.5%増)
	営業利益	200億円	(前年比 16.3%減)
	経常利益	200億円	(前年比 17.5%減)
	当期純利益	120億円	(前年比 7.4%減)
[通期の個別業績予想]	売上高	2,900億円	(前年比 3.1%増)
	営業利益	100億円	(前年比 21.4%減)
	経常利益	100億円	(前年比 24.9%減)
	当期純利益	60億円	(前年比 89.2%増)

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	22,817	24,158
受取手形及び売掛金	140,580	136,408
商品及び製品	15,371	16,187
仕掛品	1,593	1,815
原材料及び貯蔵品	12,279	13,041
繰延税金資産	3,677	3,908
その他	7,333	5,723
貸倒引当金	△1,002	△1,007
流動資産合計	202,651	200,236
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	186,977	190,982
減価償却累計額	△119,109	△122,090
建物及び構築物 (純額)	67,867	68,891
機械装置及び運搬具	403,164	412,213
減価償却累計額	△325,292	△331,356
機械装置及び運搬具 (純額)	77,871	80,856
土地	105,617	106,675
建設仮勘定	12,888	16,242
その他	24,914	25,465
減価償却累計額	△17,288	△17,580
その他 (純額)	7,626	7,884
有形固定資産合計	271,871	280,550
無形固定資産		
のれん	2,951	4,390
その他	6,407	6,365
無形固定資産合計	9,359	10,756
投資その他の資産		
投資有価証券	78,595	94,500
長期貸付金	739	732
繰延税金資産	848	669
その他	10,126	11,305
貸倒引当金	△1,600	△1,590
投資その他の資産合計	88,709	105,618
固定資産合計	369,940	396,925
資産合計	572,591	597,161

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	78,860	78,030
短期借入金	100,058	104,720
1年内償還予定の社債	5,000	—
未払費用	21,474	21,627
未払法人税等	4,050	5,382
役員賞与引当金	164	—
その他	23,431	22,729
流動負債合計	233,040	232,491
固定負債		
社債	25,000	25,000
長期借入金	100,583	108,396
繰延税金負債	8,174	10,057
退職給付引当金	7,965	8,243
役員退職慰労引当金	976	837
その他	8,718	7,801
固定負債合計	151,418	160,337
負債合計	384,458	392,828
純資産の部		
株主資本		
資本金	31,066	31,066
資本剰余金	33,997	33,997
利益剰余金	121,673	128,729
自己株式	△11,860	△11,873
株主資本合計	174,877	181,920
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,540	10,880
繰延ヘッジ損益	1	0
為替換算調整勘定	△685	4,473
その他の包括利益累計額合計	5,856	15,354
少数株主持分	7,398	7,058
純資産合計	188,132	204,333
負債純資産合計	572,591	597,161



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	251,215	257,262
売上原価	205,972	214,125
売上総利益	45,243	43,137
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	6,149	6,793
給料及び手当	9,306	9,817
のれん償却額	498	575
その他	15,747	16,162
販売費及び一般管理費合計	31,701	33,350
営業利益	13,541	9,787
営業外収益		
受取利息	198	186
受取配当金	635	710
為替差益	17	854
負ののれん償却額	253	234
持分法による投資利益	229	522
その他	1,197	1,100
営業外収益合計	2,530	3,610
営業外費用		
支払利息	1,248	1,072
その他	1,520	1,488
営業外費用合計	2,768	2,560
経常利益	13,302	10,836
特別利益		
受取補償金	—	748
その他	521	293
特別利益合計	521	1,041
特別損失		
固定資産除売却損	119	327
その他	5,061	338
特別損失合計	5,180	665
税金等調整前四半期純利益	8,642	11,212
法人税、住民税及び事業税	5,833	4,523
法人税等調整額	△2,383	△800
法人税等合計	3,449	3,722
少数株主損益調整前四半期純利益	5,193	7,489
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△60	172
四半期純利益	5,253	7,317

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,193	7,489
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△652	4,361
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	484	3,335
持分法適用会社に対する持分相当額	482	2,254
その他の包括利益合計	314	9,950
四半期包括利益	5,507	17,440
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,478	16,820
少数株主に係る四半期包括利益	29	620

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

平成25年11月6日

レンゴー株式会社

## 4. 補足情報

## 連結および個別決算概要

## (1) 連結業績

(単位：百万円 %)

	24年9月期	25年3月期	25年9月期	前年同期比	26年3月期 予 想	前年比
売上高	251,215	502,625	257,262	+ 2.4	520,000	+ 3.5
営業利益	13,541	23,890	9,787	△ 27.7	20,000	△ 16.3
経常利益	13,302	24,236	10,836	△ 18.5	20,000	△ 17.5
四半期(当期) 純利益	5,253	12,956	7,317	+ 39.3	12,000	△ 7.4
1株当たり四半期 (当期)純利益	20円39銭	50円99銭	29円54銭	+9円15銭	48円44銭	△2円55銭
設備投資額	14,400	37,014	18,869	+ 31.0	57,000	+ 54.0
減価償却費	13,301	27,898	13,564	+ 2.0	28,500	+ 2.2

## (2) 個別業績

(単位：百万円 %)

	24年9月期	25年3月期	25年9月期	前年同期比	26年3月期 予 想	前年比
売上高	144,341	281,176	143,490	△ 0.6	290,000	+ 3.1
営業利益	7,196	12,727	3,980	△ 44.7	10,000	△ 21.4
経常利益	7,148	13,320	5,216	△ 27.0	10,000	△ 24.9
四半期(当期) 純利益	1,884	3,172	3,790	+ 101.2	6,000	+ 89.2
1株当たり四半期 (当期)純利益	7円31銭	12円48銭	15円30銭	+7円99銭	24円22銭	+11円74銭
設備投資額	7,051	15,977	8,767	+ 24.3	27,000	+ 69.0
減価償却費	7,882	16,291	7,510	△ 4.7	16,000	△ 1.8